



IMURAYA  
GROUP  
2022


会社案内

# つながりと革新で、「おいしい!の笑顔をつくる」HUB型経営

各事業会社がサークル状に位置し、相互に連結、協働しながらグループ力を最大化し、企業価値を高めていく「HUB(ハブ)型」を特色としています。国内5社、海外6社のグループ各社が協働してシナジー効果を発揮し、お客さまの「おいしい!の笑顔をつくる」を実現しています。

**グローバルを目指し、井村屋の味を世界へ**

日本のもち(MOCHI)とココナッツクリームなど和と洋を融合させた商品の製造・販売やグループ会社で製造した日本製品の輸入総代理店事業、グループ会社への情報発信をしています。井村屋グループの原点であるAZUKIを中心とした新たな食文化の提案・開拓を続けています。



**中国事業の一元化を目指して**

中国事業会社(JIF、IDF、IBF)の経営の合理化と資金の有効活用を図り、安定した事業構築を目指す戦略部門です。サービス、サポート、サジェスチョンを提供し、中国事業の成長を支援します。




**IMURAYA USA, INC.**

**井村屋(北京)企業管理有限公司(ICM)**



**菓子、食品、デイリーチルド、冷蔵、冷凍和菓子、点心・デリヤ、フードサービス事業を行う**

「ゆであずき」「肉まん・あんまん」「あずきバー」などロングセラー商品に代表される独創性と多様性のある商品を提供しています。社会ニーズを捉え、長年培ってきた伝統に新たな技術の応用を加えて、新しい食シーンの創造に努めています。



**井村屋株式会社**




グループ各社の「自立と協働」により、シナジー効果を最大化するため、サービス、サポート、サジェスチョンの3Sを提供しています。変わり続ける外部環境に応え、新たな価値をお客さまに提案してまいります。

**井村屋(北京)食品有限公司(IBF)**


**カステラをはじめとした「日本の菓子」を中国市場へ**

カステラ、日式的肉まん・あんまんなどの開発、販売をしています。ネット販売やSNSを活用した販売戦略、CVS向けの商品開発などマーケティング機能を強化し、中国国内の販売チャネルの拡大はもちろん、その他の国々への販路拡大に向けて取り組んでいます。



**調味料と包装生産技術を活かし、自社素材商品およびOEMやODMに取り組む**

食品の味づくりの原料となる液体調味料や粉末調味料、レトルト製品、スパウチ製品などを主な生産品目としています。協働とソリューションをコンセプトに、食品業界を中心としたお客さまの課題解決に技術で貢献しています。



**井村屋フーズ株式会社**

井村屋グループ全体の経営戦略立案、全体最適化を担う

**井村屋グループ株式会社**

**井村屋(大連)食品有限公司(IDF)**

**調味料・焼菓子の生産工場としてJIF・IBFとの協働、世界市場への輸出を**


JIFとIBFの生産機能を担当し、粉末調味料やカステラを生産しています。新製品開発の提案にも注力し、日本・韓国・東南アジア諸国など、その市場をさらに広げるべく邁進しています。



**イムラ株式会社**

**井村屋グループの福利厚生やショップ運営などの幅広い業務を遂行**

井村屋グループ(株)の不動産・賃貸住宅の管理事業、リース代理業・社内託児所の運営、社内売店や商業施設でのショップやアウトレットなどを運営。福利厚生を通じて井村屋グループの生産性向上に貢献しています。



**井村屋スタートアッププランニング株式会社**


**将来の柱となる新事業を企画し、事業化を支援**

オープンイノベーションの考えのもと、将来の柱となり得る事業となるシーズを探り、事業化を支援し、インキュベート(育成)する戦略企画部門です。井村屋グループの持つ強みを活かし、和と健康性をテーマに新事業を企画し、総合的な支援をします。

**IMURAYA MALAYSIA SDN.BHD.**

**「和風×ハラール」商品をマレーシア、さらにASEAN諸国へ**

現地OEMパートナーと戦略提携を結び、日本で培った技術や商品開発力を活かしてマレーシア市場に合わせた商品製造・販売をしています。「日本らしい」楽しい商品・サービスをASEAN諸国にお届けしていきます。



**北京京日井村屋食品有限公司(JIF)**

**調味料の開発・販売で中国市場の食ニーズに応える**

野菜、海鮮などを主原料とした粉末調味料を中国国内外の即席麺・調味料・外食関連などの加工食品メーカーに提供しています。2014年からはマーケティング・管理機能に特化し、現地市場を見据えた商品開発を進めています。



## 「おいしい!の笑顔」を広げるため さまざまな分野へ挑戦!!

井村屋グループは、常に新しい商品を提供し続ける一方で普遍性は失わない「不易流行」や、他社の真似をすることなくオリジナリティを追求する「特色経営」の考え方、グループ理念である「おいしい!の笑顔をつくる」のミッションのもと、和と自然の味を活かし菓子、食品、冷菓、点心・デリ、デイリーチルド、スイーツ、NVCC事業、調味料などさまざまなカテゴリーで商品を展開しています。

### ● 菓子事業

創業以来、井村屋グループの核として発展を支えてきた菓子事業。ようかん・進物・カステラ・どら焼など幅広い商品を展開しています。

### ● 食品事業

ゆであずきやぜんざい、氷みつなどの和風スイーツのほか、レンジ調理タイプの冷凍の「肉まん・あんまん」、OEM受託商品としてスパウチなどを展開しています。

### ● 冷菓事業

「あずきパー」や「やわもちアイス」をはじめ、井村屋の強みを活かした特色ある和風アイスやオリジナルアイスを製造・販売しています。

### ● 点心・デリ事業

店頭のスチーマー（蒸し器）で、いつでも温かいおいしさを味わえる「肉まん・あんまん」などを製造・販売しています。

### ● デイリーチルド事業

長期保存や有機・小容量など食生活スタイルの変化をいち早く捉え、豆腐やチルドの「肉まん・あんまん」などを展開しています。

### ● スイーツ事業

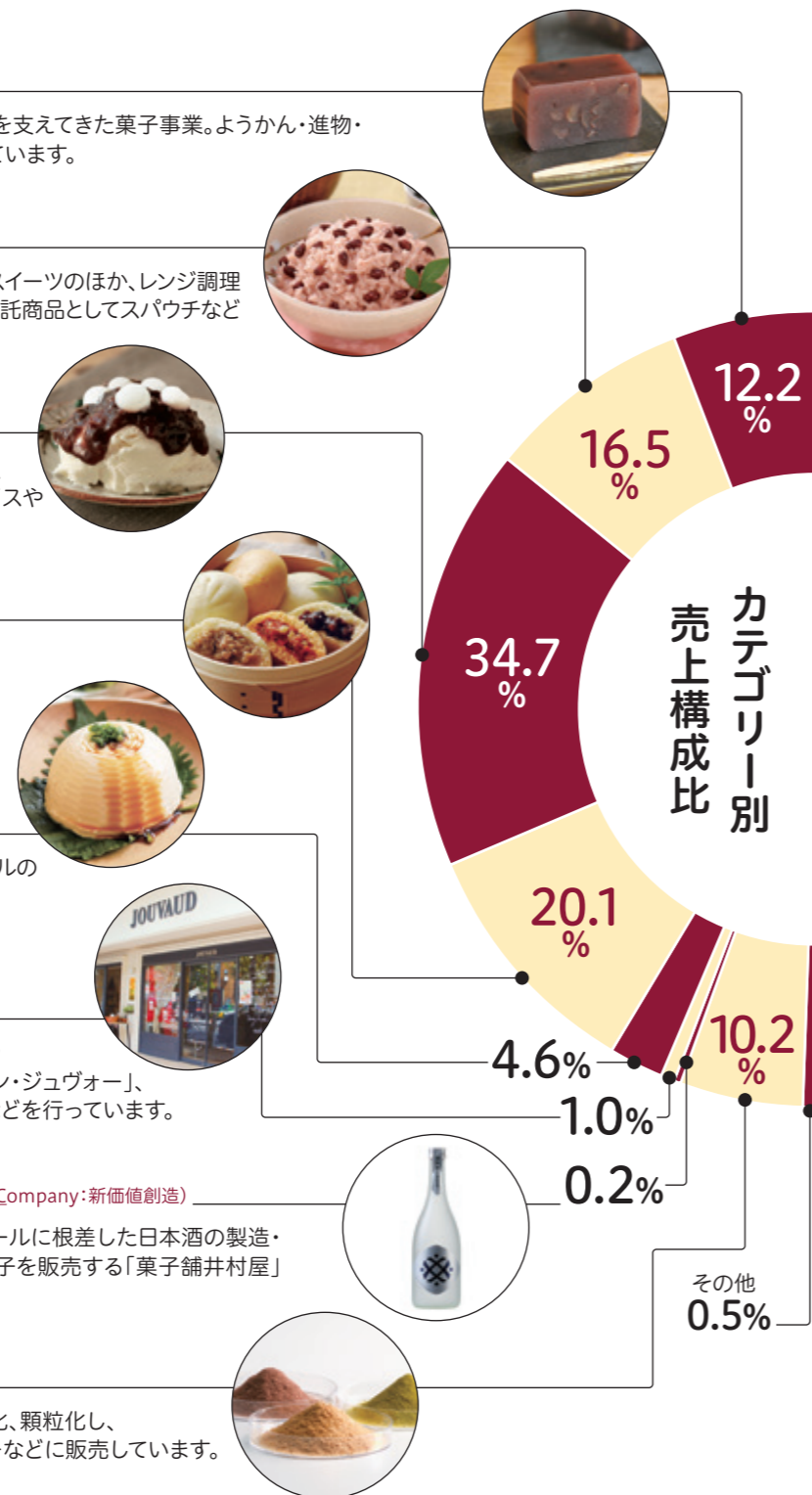
「アンナミラズ」ブランド商品のEC販売や南仏プロヴァンスのパティスリー「ラ・メゾン・ジュヴォー」、高級アイスクリーム店「和涼菓堂」の運営などを行っています。

### ● NVCC事業 (New Value Creation Company: 新価値創造)

三重県の水と酒米、酵母を使用し、テロワールに根差した日本酒の製造・販売を行う「福和蔵(ふくわぐら)」と、和菓子を販売する「菓子舗井村屋」の2店舗を運営しています。

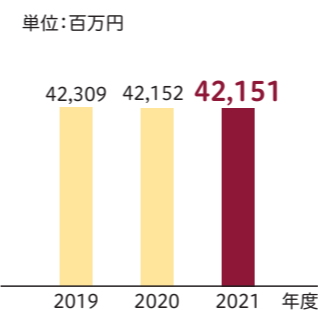
### ● 調味料事業

野菜や魚介、畜肉のエキスを粉末化、液体化、顆粒化し、業務用調味料として国内外の食品メーカーなどに販売しています。

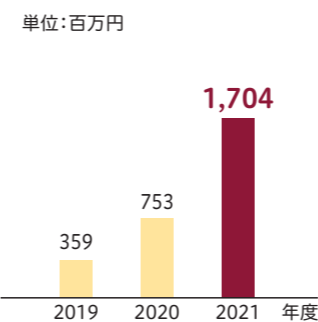


## 財務ハイライト

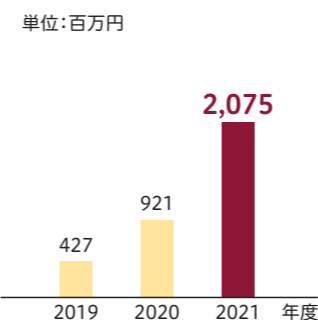
### ▶ 売上高



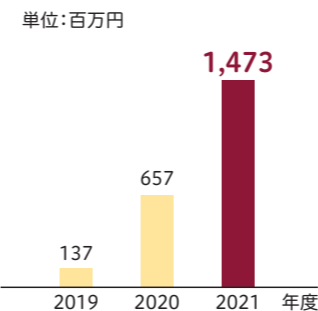
### ▶ 営業利益



### ▶ 経常利益



### ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益

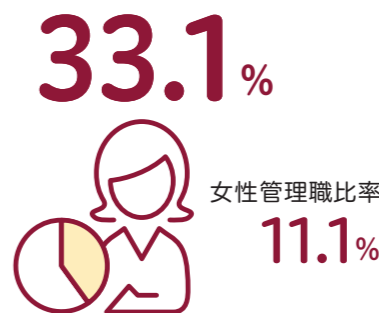


## 非財務ハイライト

### ▶ グループ従業員数



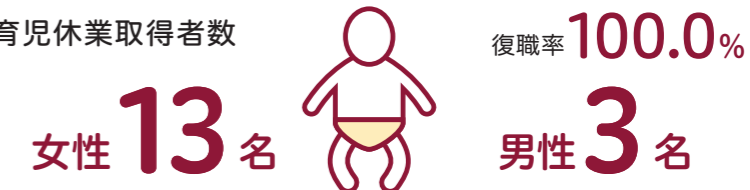
### ▶ 女性従業員比率



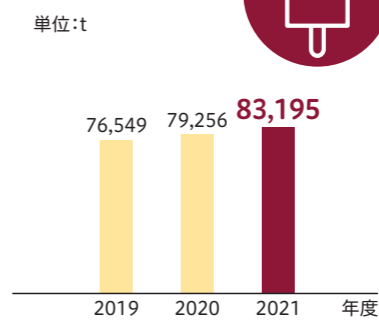
### ▶ 平均残業時間



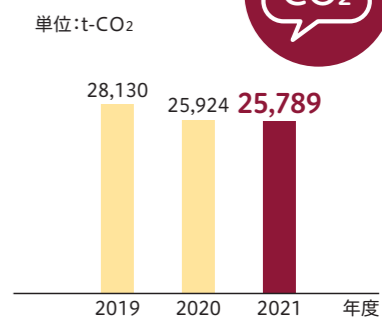
### ▶ 育児休業取得者数



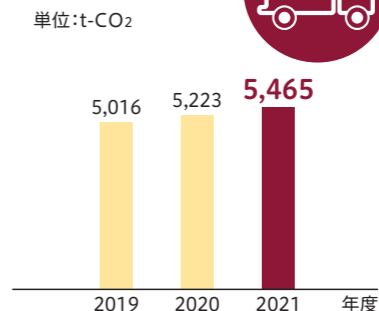
### ▶ 生産重量



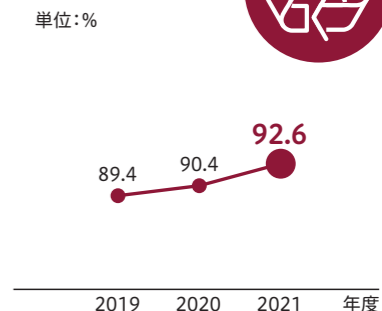
### ▶ 大気への排出CO<sub>2</sub>



### ▶ 輸送燃料



### ▶ リサイクル率



# 変わらない幸せのために、変わり続けてその先の未来へ。 井村屋「特色経営」のあゆみ

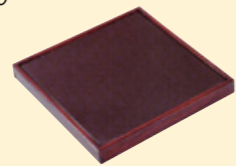
1896年(明治29年)11月15日に「井村和蔵」が三重県飯南郡松阪町(現在の松阪市)にて菓子の製造をはじめ、和菓子屋として創業しました。常に新しい商品を提供し続け、普遍性は失わない「不易流行」は、創業以来の姿勢です。

## 家業の時代としてスタート

- 1896 ●商品のおいしさと約束は必ず守る誠実さを鉄則に井村和蔵が菓子舗井村屋を創業
- ゼロからの挑戦「知恵と手間を注ぎ込んだ」山田膳流しようかん



▲創業者 井村 和蔵



▲山田膳流しようかん 井村屋第一号商品。煮詰めたようかんを流し固める型がなかったため当時はお膳として使われていた山田膳でようかんを固めて販売した。

## 企業の時代として成長

- 1947 ●「商品こそわが生命、人こそわが宝」井村二郎が株式会社井村屋を設立「人のやらないことをやる」を基本に次々とヒット商品を生み出していく



▲井村 二郎 井村和蔵の後を継ぎ、家業を企業へ発展させた。



▲井村二郎と仲間たち 前列右から4人目が二郎

- 1950 ●労働組合結成
- 1953 ●井村屋製菓株式会社に社名変更
- 1960 ●即席ぜんざい発売



▲即席ぜんざい

- 1961 ●名古屋証券取引所市場第二部に上場
- 1962 ●社内報「井津味」創刊 ●ゆであずき発売



▼ゆであずき

- 1963 ●最初は苦戦するも、井村屋独自の商品を展開アイスクリーム事業に参入



▲アイスクリーム事業立ち上げ初期の商品 氷金時・おにぎりモナカ・パイバイパー

- 1964 ●日本独自のスタイルがヒット肉まん・あんまん発売 店頭で肉まんが楽しめるスチーマーをメーカーと共同開発し、新たな食習慣を創造
- 水ようかん発売



▲肉まん・あんまん

▲水ようかん

- 1967 ●氷みつ発売



◀氷みつ

- 1972 ●アイスメロン、大豆ツ子発売



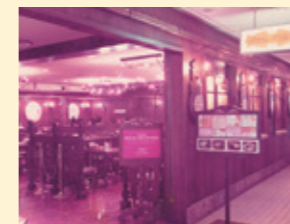
▲アイスメロン

▲大豆ツ子

- 1973 ●あずきバー発売 あずきを炊く技術と新しい発想で生まれた和風アイスの代表格
- イムラ株式会社を設立
- 新業態への挑戦 アンナミラーズ1号店オープン



▲あずきバー



▲アンナミラーズ1号店

- 1974 ●チルド肉まん・あんまん発売
- 1978 ●調味料事業に進出
- 1979 ●BOXあずきバー、カップしるこ発売
- 1984 ●カステラ5発売



◀BOXあずきバー

▲カステラ5

- 1986 ●5コ入水ようかん発売
- 1993 ●お気に入りしるこ発売

お気に入りしるこ▶



- 1998 ●安全・安心な商品提供をお約束する調味料事業部ISO14001認証取得その後、グループ各社にISO9001/14001の取得を広げるきっかけに

- 2000 ●海外進出の先駆け 北京京日井村屋食品有限公司(JIF)を設立

- 2001 ●お赤飯の素、そのままつぶあんトースト発売



▲お赤飯の素



▲そのままつぶあんトースト

- 2006 ●井村屋(北京)食品有限公司(IBF)を設立

- 2008 ●えいようかん発売
- 2009 ●日本の和菓子を世界に発信 IMURAYA USA, INC.を設立



▲えいようかん



▲IMURAYA USA, INC.工場竣工

## グループ経営の時代へ移行

- 2010 ●多様な経営資源を集結し、シナジー効果を発揮する持株会社制へ移行
- 2012 ●やわもちアイス発売



▲持株会社制



▲やわもちアイス

- 2013 ●あずきの食文化継承活動などブランドを育みあずきバー商標登録
- 井村屋(大連)食品有限公司(IDF)を設立
- 2017 ●日本フード株式会社と井村屋シーズニング株式会社の合併による相乗効果でBtoBビジネスを進化させる井村屋フーズ株式会社を設立
- 創業120年、会社設立70周年を経て、次のステージへ 東京/名古屋証券取引所市場第一部上場
- 2018 ●AZUKI・FACTORY竣工



▲東京/名古屋証券取引所市場第一部上場



▲AZUKI・FACTORY

- 2019 ●井村屋スタートアッププランニング株式会社を設立
- ASEAN市場のゲートウェイ、マレーシアへの進出 IMURAYA MALAYSIA SDN. BHD. を設立
- 酒事業参入
- 2020 ●井村屋フーズスパウチ新工場竣工
- 2022 ●プライム市場 プレミア市場移行

**持株会社の概要** (2022年4月1日現在)

**井村屋グループ株式会社**

本社所在地 〒514-8530  
三重県津市高茶屋七丁目1番1号

T E L (059)234-2131

創業 明治29年(1896年)

設立 昭和22年(1947年)4月

資本金 25億7,653万円



井村屋グループ本社

**事業会社の概要** (2022年4月1日現在)

**井村屋株式会社**

本社所在地 〒514-8530  
三重県津市高茶屋七丁目1番1号

T E L (059)234-2132

代表取締役社長 岩本 康

設立 平成22年(2010年)10月

資本金 3億1,000万円

**井村屋フーズ株式会社**

本社・中原サイト 〒441-3106  
愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1

T E L (0532)41-1191

七根サイト 〒441-3202  
愛知県豊橋市西七根町字奥足田口88番地

T E L (0532)21-2311

代表取締役社長 菅沼 重元

設立 昭和44年(1969年)1月

資本金 5,000万円

**イムラ株式会社**

本社所在地 〒514-0819  
三重県津市高茶屋五丁目6番1号

T E L (059)234-2080

代表取締役社長 中島 伸子

**井村屋スタートアッププランニング株式会社**

本社所在地 〒514-8530  
三重県津市高茶屋七丁目1番1号

T E L (059)234-2135

代表取締役社長 大西 安樹

**北京京日井村屋食品有限公司(JIF)**

本社所在地 中国北京市豊台区榴郷路88号  
石榴中心11号楼101

T E L +86-10-8379-4893

董事長 近藤 久嗣

総経理 大西 由晃

**井村屋(大連)食品有限公司(IDF)**

本社所在地 中国遼寧省大連市旅順口区長城街道  
大房身村

T E L +86-411-8627-8020

董事長 近藤 久嗣

総経理 上田 長平

**井村屋(北京)食品有限公司(IBF)**

本社所在地 中国北京市豊台区榴郷路88号  
石榴中心11号楼101

T E L +86-10-8379-4401

董事長兼総経理 近藤 久嗣

**井村屋(北京)企業管理有限公司(ICM)**

本社所在地 中国北京市豊台区榴郷路88号  
石榴中心11号楼101

董事長兼総経理 近藤 久嗣

**IMURAYA USA, INC.**

本社所在地 2502 Barranca Parkway, Irvine,  
CA 92606, USA

T E L +1-949-251-9205

C E O 浅田 剛夫

C O O 甲斐下方俊

**IMURAYA MALAYSIA SDN.BHD.**

本社所在地 Unit32-01, Level32, The Vertical  
Corporate Office Tower B, Avenue 10,  
Bangsar South, No.8 Jalan Kerinchi  
59200 Kuala Lumpur Malaysia

T E L +603-2786-3794

代表取締役会長 大西 安樹

取締役社長 小川 篤

**井村屋グループの活動拠点** (2022年4月1日現在)

**日本**



**北米**



**中国**

北京京日井村屋食品有限公司(JIF)  
井村屋(北京)食品有限公司(IBF)  
井村屋(北京)企業管理有限公司(ICM)  
(中国北京市)



**マレーシア**

IMURAYA MALAYSIA SDN.BHD.  
(マレーシア クアラルンプール市)



**井村屋グループ役員** (2022年6月末日現在)



代表取締役会長 (CEO・CMO) 浅田 剛夫



代表取締役社長 (COO) 中島 伸子

取締役副社長 菅沼 重元

取締役副社長 岩本 康

専務取締役 (CFO) 富永 治郎

取締役 岩上 真人

取締役 前山 健

取締役 大西 安樹

社外取締役 西岡 慶子

社外取締役 田中 里沙

社外取締役 福谷 朋子

執行役員専務 甲斐下方俊

執行役員常務 行方 貞彦

執行役員常務 井村 慎

執行役員常務 近藤 久嗣

執行役員常務 益川 博

執行役員 岡田 孝平

執行役員 尾崎 弘二

執行役員 山路 明

常勤監査役 脇田 元夫

常勤監査役 森井 英行

社外監査役 若林 正清

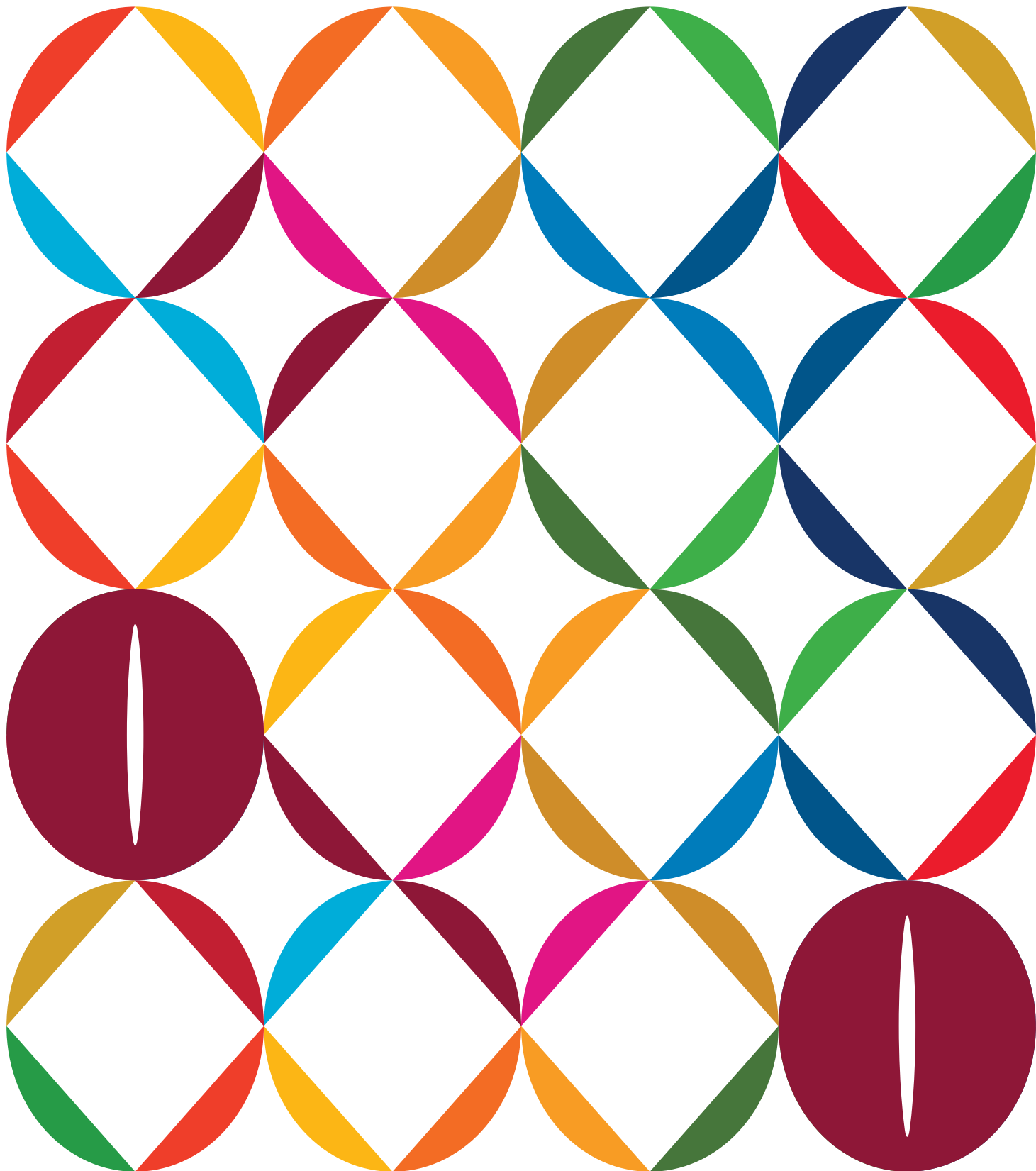
社外監査役 土田 繁

ご意見、ご感想は井村屋グループ(株)の  
ホームページのお問い合わせフォームに  
ご記入の上、送信してください。

<https://www.imuraya-group.com/contact/>

メールでの受け付けは24時間行っておりますが、営業時間外、および土日・祝日・GW・夏季休暇・年末年始の間にいただいたお問い合わせは翌営業日以降の対応となりますのでご了承ください。

営業時間:月曜日~金曜日 AM9:00~PM5:00  
(土日・祝日・GW・夏季休暇・年末年始を除く)



〈 お問い合わせ先 〉

**井村屋グループ株式会社 経営戦略室**

〒514-8530 三重県津市高茶屋七丁目1番1号

TEL.050-1791-2014 FAX.059-234-2130

ホームページアドレス <https://www.imuraya-group.com/>

2022年11月発行

**UD**  
**FONT** 見やすく読み間違えにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。